

500 年前からつづく、旅のお守り十団子をアレンジ！ 食べる十団子を 8 月 23 日(水)限定発売

2023 年 8 月 22 日

静岡のソウルフード「静岡おでん」を販売する天神屋(本社: 静岡県静岡市代表取締役: 有田一喜)は、2023 年 8 月 23 日(水)限定で、500 年前からつづく、東海道の旅のお守り“十団子”をアレンジした「食べる十団子」を天神屋 道の駅宇津ノ谷峠下り店で販売いたします。

■東海道旅のお守り“十団子”とは

地蔵が鬼を退治したという伝説にちなむ縁起物を、東海道を行き交う人々が、旅の安全を祈り、買い求めていました。その歴史は古く、今から 500 年近く前の室町期(大永年間)の記録にあるほどです。10 個の団子をひもでつなぎ、束ね合わせた独特の形をしている「十団子」は、今では、厄除けの縁起物として門口に飾られ、毎年 8 月 23、24 日の慶龍寺の縁日「地蔵盆」にて販売されます。

慶龍寺住所: 静岡県静岡市駿河区宇津ノ谷729-1




■500 年の歴史“十団子”は、様々な形で受け継がれています

写真左) 地元・宇津ノ谷地区の住民の方々が、毎年 8 月上旬から 10 日間かけて用意している“十団子”は、お湯で溶かした米粉を指で一つ一つこね、小さな 10 粒の団子を数珠つなぎにし、それを房状に束ねています。

写真右) ふじのくに福産品「道中安全」静岡市東海道広重美術館 蔵の絵柄にラポール古庄さんで製作した「宇津ノ谷峠 道中安全ストラップ」です。

■商品概要

	販売日	2023 年 8 月 23 日(水)
	商品名	食べる十団子
	価格	371 円(税抜) 400 円(税込)
	商品特徴	地元の食材を合わせた“はちみつ味噌”を団子に焼き焦がしました。山々の自然あふれる丸子ならではの“食べる十団子”です ・桜井はちみつ店さんの百花蜂蜜を使用 丸子で採蜜したハチミツ。百の花から採れた蜜、春先の山花をミツバチたちが集めてきたはちみつです ・丁子屋さん自家製白みそを使用 何百年も受け継がれてきた伝統の味。北海道産高級大豆(つるむすめ)を原料とし、まるやかな口当たりで、米糍の比率が高いのが特徴です。
	販売場所	天神屋 道の駅宇津ノ谷峠下り店のみ数量限定販売。

■株式会社 天神屋 概要 (<https://tenjinya.com>)

創業 1954 年 11 月
代表者 代表取締役 有田一喜
本社 〒422-8006 静岡市駿河区曲金 5 丁目 1-1
事業内容 弁当、惣菜、しぞーかおでん等製造販売